授業科目名・形態	病態治療学Ⅲ（産婦人科）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名		実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N3-2010npmht				

【授業の主題】

産婦人科（学）の領域は非常に広い。古典的産科学、婦人科学に加えて、生殖医学、老年医学をも包含し、女性の一生をサポートする分野であるとともに、社会的諸問題（女性の権利、少子化問題、性の倫理など）と深く関わっている特徴がある。

【到達目標】

女性の健康管理を通じ、社会や文化に与える影響を絶えず考察できる基本的素養を育む。

【授業計画・内容】

第 1 回　女性の生理と解剖
第 2 回　産婦人科診断学
第 3 回　婦人科腫瘍学１（良性）
第 4 回　婦人科腫瘍学２（悪性）
第 5 回　婦人科機能性疾患１（生殖医学・性感染症）
第 6 回　婦人科機能性疾患２（老年婦人科学）
第 7 回　正常妊娠と異常妊娠
第 8 回　分娩生理学（正常分娩と異常分娩）
第 9 回　産科合併症と産科手術学
第10回　母子保健概論

【授業実施方法】

講義（スライド使用）

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【授業準備】

講義で使用した配布資料やスライドの内容を中心に復習を行ってください。

【主な関連する科目】

母性看護学概論、母性看護方法論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

系統看護学講座専門分野Ⅱ　成人看護学９　女性試生殖器　医学書院
系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学２　母性看護学各論　医学書院

【参考文献】

なし

【成績評価方法】

講義終了時に実施する定期試験（100%）により、評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

産婦人科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

社会の繁栄・家庭の幸せにとって、女性の健康がいかに重要であるかを、本講によって諸君は痛感するであろう。